

事業所名		K i d s ハミング放課後等デイサービス				支援プログラム		作成日	R6	年	12 月	1 日
法人（事業所）理念		こども・高齢者・地域の皆様との交流を通して、すべての人々が支え合い、生きていきやすい社会へ										
支援方針		意思の尊重及びこどもの最善の利益の優先を考慮し、こどもと保護者の意向やこどもの適性や特性その他の事情を踏まえた放課後等デイサービス計画を作成し、これに基づき指定放課後等デイサービスを提供します。こどもと家族が安心して生活をおくることができるよう関係機関と密接な連携を図ります。こどもの意思及び人格を尊重して、こどもの立場に立った指定放課後等デイサービスの提供に努めます。										
営業時間		平日	13 時	30 分	18 時	30 分	送迎実施の有無	あり	なし		豊中市、吹田市、淀川区	
		休日	9 時	30 分	17 時	30 分						
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	食事や排せつ、衣類の着脱（みなしだみ）など健康的な生活を送るための支援を行います。また、手洗いや消毒など感染防止に関する支援も行います。これらの支援は、本児がすすんで自らが行えるよう、本児の特性や現状にあわせた支援を行います。生活習慣を整え、衛生や感染予防に配慮し健康的に安心して生活できるよう支援します。こどもの特性や発達の状態に配慮しながら心身の状態を確認し、普段と違う異変に速やかに気づき対応できるよう小さなサインに留意します。食事支援では一人一人の状態に合った食形態の提供と本人の力を引き出す介助方法で安全においしく食事を楽しめるよう支援します。排泄支援では、プライバシーを保護し特性や発達状態に合わせたトイレへの誘導やオムツ交換を行います。支援プログラムの具体例：食事、排泄、清潔、健康チェック、医療的ケア、感染予防、散歩、クッキング等、余暇活動など										
	運動・感覚	遊びを通して姿勢保持や筋力の維持強化を図ります。運動や動作が困難な場合は身体移動の補助等を行い、日常生活に必要な基本的技能の向上のための支援を行います。（集団による運動活動として、体育館においてスポーツ活動を実施します。さまざまな意見をだしてイベントカレンダーを作成し、リズム遊びや工作、折り紙など特に視覚、聴覚及び触覚に関する支援を行います。一人一人の特性や発達の状態に合わせてあそびを通して運動を行い、興味・関心・楽しみ・やる気・持っている力を引き出す支援をします。場面に応じた姿勢の保持や補助装具の使用、ＯＴ（作業療法士）によるストレッチやマッサージによる関節の拘縮や変形の予防、立位や歩行、座位保持等による筋力の維持を図ります。視覚・聴覚・触覚・の保有する感覚を活用し発達を促す支援を行います。支援プログラムの具体例：音楽、ダンス、園芸、サッカー、野球、風船バレー、輪投げ、玉入れ、ウォーカー歩行等										
	認知・行動	時計の読み取りを通じて集団生活における時間管理に関する支援を行います。こどもが意欲的に関われるようなあそびを通して、成功体験を増やし自己肯定感を育みます。一人一人の認知の特性を探り特性に合わせて働きかけをします。様々な感覚を活用し、入ってくる情報を受け取り処理できるよう方法を工夫して認知機能の発達を促します。物の様子、音、人、場所、時間等の概念の形成を図り、周囲の環境に本人が気づき、自発的な動きや行動を引き出せるように支援します。支援プログラムの具体例：絵本、音楽、タブレットを使用したあそび、創作、プレイバルーン、スノーズレン（光・音・香り）、道具を使ったあそび(魚釣り、ボーリング等)、散歩、クッキング										
	言語 コミュニケーション	言葉や文字（読み書き）を用いて、自分の考えや思いを言語で表出できる（伝えられる）よう支援します。また、不適切な言葉や表現方法に対しては、人やその場に応じた適切な取扱いができるよう、本児が理解できる方法で時間をかけて支援します。言葉のほか、指差し、身振りサイン、マカトンサインなどを用いて意思表出のための支援を行います。様々な人との関わりや交流を通して人と関わる楽しさを感じ、自分の表現方法で意思表出ができるよう支援します。自分の気持ちや意思に気づけるよう働きかけ、自分に合った手段で意思の伝達ができるよう一人一人の発するサインを大切に方法を工夫します。場面に応じた人との関わり方について学んでいけるよう経験を増やし、周囲の環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。支援プログラムの具体例：読み聞かせ、すごろく、お友だちとのやりとりを楽しむ集団あそび、個別のふれあいあそび、季節の行事（夏祭り、運動会、ハロウィン、クリスマス等）										
	人間関係 社会性	本児の感情が不安定になったり、他児からの働きかけを受け止められない状況の際は、本児が相談できる環境を構築し、安心して過ごせる場づくりのための支援を行います。模倣（まね）から遊び（ごっこなどの象徴遊び）へ、1人遊びから協同遊びへと移行することにより、役割やルールなど社会生活に必要な発達支援を行います。職員やお友だちとの関わりの中で、人や環境に対する安心感・信頼感を育みます。安心できる居場所で自己肯定感を育み安定した情緒の下で生活ができるよう支援します。他者との関わりを通じて自分の気持ちに気づき、折り合いをつける力や他者を思いやる気持ちを育みます。支援プログラムの具体例：ふれあいあそび、リラクゼーション、ルールのある集団レクリエーション、季節の行事、散歩、買い物体験等。										
家族支援		家族全体に対し本児の進路や生活における困りごとなどの相談に応じます。また、日常の心配や困りごとに対して相談援助を行い、必要な情報を提供します。こどもの発達を共有し、安心して子育てできるようにします。子育てに対する孤独を感じず、子どもとの時間を楽しめるように支援します。保護者の就労や保護者自身が自分の時間をもつことができるよう支援します。また、家族と一緒に参加できるイベント等を企画し楽しい時間をすごせるようにします。					移行支援		ライフステージの切り替えを見据え必要な準備を本人・保護者・関係する人と一緒に考えて行います。移行する前後の事業所等と連携し、支援内容や取組、本人や家族の意向、支援の中で大切にしたいこと等を共有し引き継ぎます。地域に住む人との交流を通じて地域とのつながりを感じられるよう、将来を見据えて様々な人と関わりの中で生活ができるよう交流の場を広げます。			
地域支援・地域連携		地域が開催する、運動会や季節行事への参加を企画します。本児が地域の活動をもってインループ（共生社会）教育が実現されることで、本児の特性が地域で発揮され、併せて地域に理解される機会をつくります。関係する機関と連携しこどもと家族が安心して地域で生活ができるよう日常の情報交換や会議等で必要な支援を考えます自立支援協議会や研修等に参加し情報収集と連携、地域課題の改善・解決に努めます。地域の人たちとの交流や社会体験の場を広げ、地域が安心できる居場所となるよう支援します。					職員の質の向上		外部研修や事業所内研修を行い、各職員の能力や資質の向上を目指します。感染予防、防災、防犯、虐待防止、事故防止等に対する研修と訓練を定期的に行い、事業所の安全対策を行います。職員間で日々の支援の振り返りや気づきを大切に、支援の改善と向上を目指し話し合いを重ねています。			
主な行事等		季節にあわせて文化に触れられるような行事を実施。 春・・・卒業式・お花見 夏・・・夏祭り・ＢＢＱ 秋・・・運動会・ハロウィーンパーティー 冬・・・クリスマス会 など										